



新大学生に美しい街を

二瀬中生や住民ら
九工大周辺を清掃

九州工業大情報工学部（飯塚市川津）の新入生をきれいな街で迎えようと、地元住民でつくる二瀬地区まちづくり協議会は13日、大学周辺の歩道や道路脇のごみを拾う「クリーンキャンペーン」に取り組んだ。住民や二瀬中の生徒、九工大の学生や留学生など約2

00人が参加した。約20年続いている取り組み。

二瀬公民館に集まった参加者に、協議会の緒方健会長（82）は「一つ一つの力が集まると、大きな力になる」とあいさつした。その後、参加者はごみ袋を手に出発し、空き缶や紙くずなどを拾った。写真。

二瀬中3年の嶋田龍政君（15）は「たばこの吸い殻が多かった。捨てた大人はもうやめてほしい」と話した。

（野津原広中）